

ご参考資料

2016年2月9日

2016年2月9日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年2月9日、一部の弊社ファンドの基準価額が前営業日比で5%超下落しました。以下に該当ファンドの一覧および基準価額の主な下落要因となった市場環境についてお知らせいたします。

1. 基準価額が前営業日比で5%超下落した公募投資信託(2016年2月9日現在)

ファンド名	基準価額	前営業日比	前営業日比騰落率
GS MLPインフラ関連証券ファンド 年2回決算コース	4,942円	▲313円	▲6.0%
GS MLPインフラ関連証券ファンド 毎月決算コース	4,721円	▲296円	▲5.9%
GS・日本株ファンド【牛若丸】	9,090円	▲549円	▲5.7%
GS・日本株ファンド(自動けいぞく)【牛若丸(自動けいぞく)】	12,054円	▲730円	▲5.7%
GS 日本株式インデックス・プラス	8,766円	▲512円	▲5.5%
GS 日本株・プラス(円コース)	7,916円	▲453円	▲5.4%
GS 日本株・プラス(通貨分散コース)	5,580円	▲422円	▲7.0%
GS 日本株・プラス(米ドルコース)	7,939円	▲587円	▲6.9%
GS 日本小型株ファンド	10,304円	▲562円	▲5.2%
GS 日本フォーカス・グロス 毎月決算コース	8,409円	▲521円	▲5.8%
GS 日本フォーカス・グロス 年2回決算コース	8,438円	▲523円	▲5.8%

騰落率とは、ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)でファンドを購入(再投資)したと仮定して算出した場合の騰落率です。

ファンドによって、投資対象市場の基準価額への反映タイミングが異なります。

2. 基準価額の下落要因となった主な市場環境について

主なマーケット指標	2月8日	2月5日	騰落率
アレリアンMLP指数	220.0	240.1	▲8.4%
S&Pエネルギー・セクター・セレクト指数	558.2	561.0	▲0.5%

出所:ブルームバーグ、米ドルベース

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

ご参考資料

主なマーケット指標	2月9日	2月8日	騰落率
東証株価指数(TOPIX)	1304.33	1380.41	▲5.5%
米ドル/円(対顧客電信売買相場の仲値)	115.35	117.02	▲1.4%
ユーロ/円(対顧客電信売買相場の仲値)	129.30	130.37	▲0.8%
英ポンド/円(対顧客電信売買相場の仲値)	166.44	169.84	▲2.0%
カナダドル/円(対顧客電信売買相場の仲値)	82.69	84.21	▲1.8%
オーストラリアドル/円(対顧客電信売買相場の仲値)	81.22	83.04	▲2.2%
ニュージーランドドル/円(対顧客電信売買相場の仲値)	76.11	77.68	▲2.0%

出所:ブルームバーグ

[コメント]

2016年2月8日、MLP市場の代表的な指数であるアレリアンMLP指数は8.4%、S&Pエネルギー・セクター・セレクト指数は0.5%下落しました(アレリアンMLP指数、S&Pエネルギー・セクター・セレクト指数ともに米ドルベース)。

大手川上企業のチェサピーク・エナジーの破綻懸念が再燃したことなどを背景に、同社株式をはじめとする関連MLPが大きく下落したことで市場全体のマインドが悪化し、MLP市場は大きく調整しました。

2016年2月9日の日本株式市場の代表的な指数である東証株価指数は、グローバル経済の先行き懸念の高まりや円高の進行などを受けて、前営業日比5.5%下落しました。

為替市場では、安全資産を求める動きが活発になったことから、円高米ドル安が進みました。

ファンドのリスク

投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」を必ずご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	上限4.32%(税込)
信託財産留保額	上限0.3%
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して年率上限2.16%(税込) *一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。
その他の費用・ 手数料	有価証券売買時の売買委託手数料、監査費用、資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料(組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。)はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

ご参考資料

《ご注意》

前ページに記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が運用する投資信託のうち、ご投資家の皆さまにご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

© 2016 Goldman Sachs. All rights reserved. <32971-OTU-174827>

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。